



吐く息も白くなり、北の大地では冬支度を始めております。
今回は「第1回臨床試験中核病院事業シンポジウムについて」等、記載しております。

●第1回臨床試験中核病院事業シンポジウムについて●

本年11月7日(水)に京王プラザホテルエミネンスホールにおいて「第1回臨床試験中核病院事業シンポジウム」が開催されました。講演会には医療機関、製薬会社の関係者及び一般市民の方等、125名の方々にご参加いただきました。

本シンポジウムは本院の「平成24年度臨床試験中核病院整備事業」の開始に合わせて企画したもので、はじめに高度先進医療支援センター長の佐藤教授が「北海道大学病院における臨床試験中核病院事業」について紹介後、3人のシンポジストの方からご講演いただきました。厚生労働省 医政局研究開発振興課 課長補佐の原



章規氏からは『日本発の革新的医薬品・医療機器等の創出に向けた取り組み ～臨床試験中核病院事業と先進医療制度を中心に～』の演題にて、日本製薬工業協会 医薬品評価委員会委員長 稲垣 治氏からは『アカデミアの臨床研究に対する期待』の演題にてそれぞれご講演いただきました。また、北海道大学 大学院医学研究科 がん予防内科学講座 浅香 正博 特任教授から『臨床試験はどこまで未来を予測できるのか?』をテーマにご講演いただきました。浅香



特任教授のヘリコバクター・ピロリ除菌療法と消化管潰瘍及び胃癌の臨床研究を事例にした臨床試験が未来を予測できる可能性についての講演内容に会場からも質問が多数上がり、有意義なシンポジウムとなりました。センターでは今回のようなシンポジウムを定期的で開催するとともに、「信頼される臨床研究」を「北海道から世界へ発信する」臨床研究拠点となるべく、尽力していきたいと考えております。

●事務局からのお知らせ●

■IRB開催予定日■

11月27日(火) 15:00 より

■会議室状況■

11月中のご予約は、ほぼ一杯になっております。

翌月12月からのご予約も承っておりますので、SDV・アポイント等のお申込みの際には、お早めにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

■お願い■

SDV時、使用可能な電子カルテの台数に限りがございます。

仮予約の時点でいらっしゃる人数をお伺いし台数を確保致しますので、仮予約時には人数をご教示頂けます様お願いいたします。

現在、SDVご予約時にご使用頂いております【調整用フォーマット】につきまして、

<ご希望日時>が2012年までしか選択できない場合がございます。

その様なフォーマットをお使いの方はお手数ですが、下記ホームページより改めてフォーマットをダウンロード頂けます様お願い申し上げます。



ホームページ: <http://trctca.huhp.hokudai.ac.jp/index.php>
お問い合わせ・配信変更等: 電話 011-706-7061